

【GIGA×指導の工夫・改善】調理実習の「計画」から「振り返り」までをICTで支える（6年：家庭科）

＜考察＞

6年生は、献立作りで一人一台端末を使いました。

人数が少なく、「1人1調理」が可能なので、個々にスライドやドキュメントを使って献立を作成しました。出来上がりの写真も含め、計画から振り返りまでを全て端末を使って提出します。そのため、どのような視点で何を考えながら今回の献立の調理実習を行ってきたのか、学習の過程が子ども本人も教師も確認することができました。

また、教師はクラスルームで誰が献立を提出したのか把握することで、調理実習当日までに保護者にも連絡を行い、持ち物や安全面について共有することができました。

調理実習本番のときも、クロムブックで献立内容や作成手順を確認し、どの子も手際よく美味しそうな野菜炒めを作っていました。

